

2018年11月1日

発行：斑鳩町議会
発行人：議会議長 伴 吉晴
編集：広報発行常任委員会

いかるが



▲ 斑鳩町創業支援センター「ふらっぴん♪」

9月 定例会

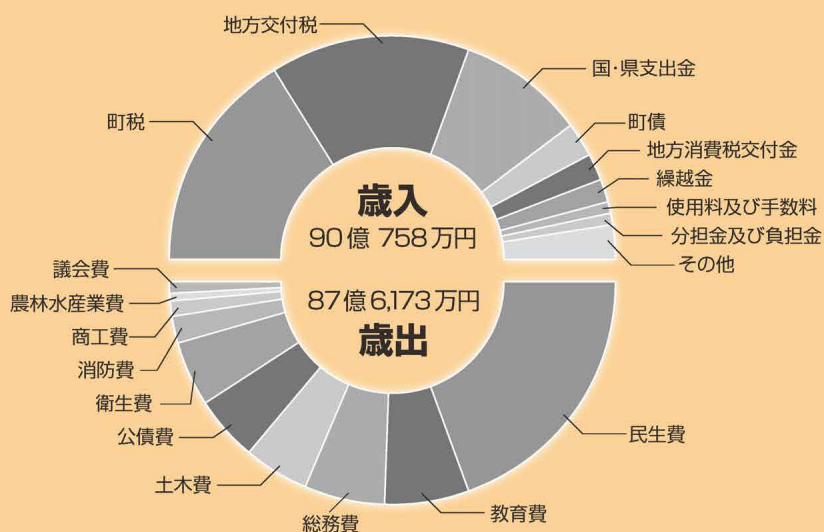
平成29年度決算を審査	2ページ
こんなことが決まりました	6ページ
本会議での討論	7ページ
10人の議員が一般質問を行いました...	8ページ
委員会のうごき	15ページ



平成29年度決算を認定

平成29年度斑鳩町一般会計、各特別会計、水道事業会計の歳入歳出決算を審査するため、9月11日、13日の2日間にわたり、決算審査特別委員会を開催しました。

今回は、その概要をご報告します。



委員会では、監査委員から、一般会計、各特別会計、水道事業会計について、それぞれ関係法令に準拠して調製され、誤りがないものと認められたこと、また、各基金の運用状況についても計数に誤りなく、適正に運用されていると認められたとの報告を受けました。

委員会では、この報告の後に、決算の認定のための審査を行いました。

会計名	歳入	歳出	
一般会計	90億 758万円	87億6,173万円	
特別会計	国民健康保険事業	35億5,467万円	38億 242万円
	公共下水道事業	13億5,922万円	11億 557万円
	介護保険事業 (保険事業勘定)	22億6,980万円	21億3,935万円
	介護保険事業 (介護サービス事業勘定)	1,177万円	1,011万円
	後期高齢者医療	4億1,623万円	4億1,554万円
企業会計(水道事業)	7億1,941万円	6億7,114万円	
合計	173億3,868万円	169億 586万円	

(1万円未満四捨五入のため、各会計の合計と合計欄の金額は一致していない場合があります)

決算認定とは？

町に入ったお金(歳入)や使ったお金(歳出)の実績(決算)について、議会が住民の代表として審査、認定するものです。(認定しない場合もあります。)

「法に基づき適正に執行されたのか」などの審査を行うだけではなく、事業の行政効果や問題点を指摘し、今後の行財政運営の改善に役立てるなどの意味があり、議会の重要な役割のひとつです。

一般会計

期日前投票の混雑解消策の検討は？

問 期日前投票がどんどん増えている。何十分も待たなければならぬという状況について今後の改善策は？また経費の内訳は？

答 今後は、場所等も含めできるだけ待たなくていいように検討していきたい。

高齢者の免許の自主返納

問 自主返納していただいた方にI-C-O-C-Aカードを交付しているが決算額は？

答 55人の申請を頂きまして1人当たり50000円の27万5000円です。

問 支援は1回だけか？

答 1回だけです。

意見 一度、免許を返納したらずつと車に乗れないので1回きりではなく継続的に支援するというのを考えていただきたい。

プレミアム商品券と予算額と決算額が合わないが

問 プレミアム商品券の予算が560万円に対して執行が480万円になっているがどういふことか。

答 最終的に販売期間を終えてもプレミアム商品券がすべて完売しなかったことから予定していた予算額に達しなかったということです。

観光ルートサインの予算額と決算額が合わないが

問 観光ルートサインの整備について予算600万円に対して645万円になっているがどういふことか。

答 ルートサインの整備をしたところが南大門の前になっていて、法隆寺の底地を貸していたのでいるのですが、法隆寺より当初のデザインよりもよりお寺らしいデザインにしてほしいということをご指導いただき屋根がついたようなデザインに変更いたしました。これに伴いまして執行

額が増えたものです。

問 観光ルートサインについては、県が奈良県統一デザインのものを、ということだが設置しようとする通常よりも費用がかかるものだと認識しているが、当初の計画通りつけていくのか。

答 県のガイドラインに沿って付けますと非常に高額なお金がかかるということがあります。夢殿の近くでサインの整備をしようとしているのですが、今現在ある柱を利用すると安価で済むこともあり柱を残したまま避難所や新しい施設、多言語化した新しい内容の

板に変えさせていただきますと考えるといます。費用を抑えながらよりわかりやすいルートサインの整備に努めてまいります。

景観改善委託料を無駄にしないように！！

問 電柱類の景観改善整備の委託で約500万円ほど調査業務をされていますが現在の状況は？

答 無電柱化に向けて財源の確保とかの課題があり、今後、町財政を踏まえ事業進捗については計画していきたいと思えます。

問 財政をふまえて計画していくということであるが財政が厳しいからやらないとなると何のための委託料だったのかとなるが？

答 歴史的風致地区向上計画に位置付けられているもので斑鳩町の施策として重要な案件と考えています。直ちに中止、見直しをしようと考えているところではありません。

問 この委託料が500万円と大きくなっているのはなぜか。

答 概略の設計等も含め委託をしており、地下埋設物の調査等、人件費がかかっています。これらが金額が大きくなっている要因です。

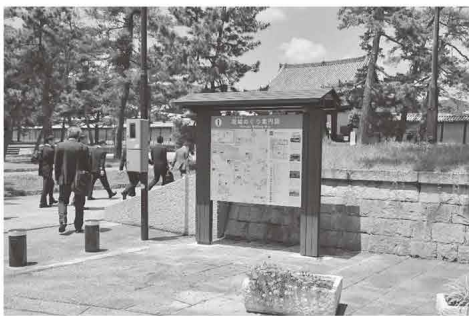
問 県や国からの補助との内訳は？

答 二分の一は国の方から補助を頂いております。

老人憩いの家の利用者人数の減少について

問 平成29年度は28年度と比べ東憩いの家で451名、西憩いの家で1160名減っていますがこの原因は？

答 利用が少なくなった原因としては毎日来られるような方が要介護になったり、夫婦で来られていた方のお一方が病気になるお二人とも来られなくなったケースがあり、その辺が影響しているのではないかと考えています。



法隆寺南大門前のルートサイン

コミュニティバスの
今後は？

問 コミュニティバスについてアンケート等の結果を見ると住民の皆さんにとって現在、使にくいものになってきているのではと思う。早い時期に変えていただく必要があると思うがいかがか。

答 アンケートを取らせていただいた住民の皆様意向も出てきていますので、できるだけ早く変更したいと思っています。担当常任委員会や地域公共交通会議で諮り時期としては、できれば4月を目途には考えています。

コミュニティバスと
いきいき号の連携を

問 町が補助金を出している社会福祉協議会のいきいき号とコミュニティバスを合わせて検討する必要があると思うがいかがか。

答 斑鳩町の地域公共交通をどうしていくかということなのでコミュニティバス

との連携を含めて、協議をする中で決めていきたいと考えています。



コミュニティバス		生き生き号
制限なし	利用対象者	・60歳以上の高齢者 ・日常生活において歩行による移動が困難な障害者
100円(中学生以下、障がい者等は無料)	料金	無料
21名	乗車定員	8名
毎日(年末年始を除く)	運行日	① 錦ヶ丘・緑ヶ丘コース …… (火・金) ② 神南・北庄・西の山コース … (火・金) ③ 白石畑・東里コース …… (月・火・金)
町内全域	運行区域	

小学校のトイレの
洋式化の進捗具合

問 トイレの様式化が3か年計画で進んでいると思うが現在の状況はいかがか。

答 190か所のうち48か所が洋式トイレでありましたが3年間で101か所になりました。



洋式化された小学校のトイレ

2020年の英語の教科化
に向けての対応は

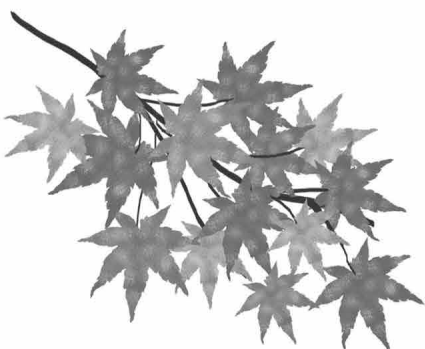
問 今後、英語が小学校5・6年生で教科化されるがALTの配置はどのように考えているか。

答 平成29年度はALT1名の予算、平成30年度は2名となっていますが来年度

は3名配置していかうと考えています。

問 移行期間の中で来年度予算で移行期間を使って教科化を実施されるのか。

答 平成32年から教科化されると時間数において70時間を実施しなければなりません。いきなり70単位時間を実施するのはなかなか難しいので来年度、前倒しで70単位時間を実施していかうということと学校と協議してあります。参考に申し上げます。平成29年度は35単位時間であったところを今年度は50単位時間を実施しております。



審査結果

賛成多数で認定

用語解説

ALT(外国語指導助手)とは

Assistant Language Teacher

の略。

日本人教師を補佐し、生きた英語を子どもたちに伝える英語を母語とする外国人のこと。

国民健康保険事業特別会計

国保税の税収減はなぜ？

問 国保税の税収が少なくなったのは加入者が減ったということであるが人口の減以上に加入者が減っていると思うがいかがか。

答 人口減少も一因ですが、会社勤めの方が多くなっているのも一因かと思えます。

審査結果

満場一致で認定

公共下水道事業特別会計

審査結果

満場一致で認定

介護保険事業特別会計

介護予防支援について

問 介護予防活動の支援についてどれくらいのコストをかけて地域の特性を生かした支援体制を構築したのか。

答 専門の業者に委託し14万4000円の委託料を使いリーダー養成を行ったところ。当初の目標10人に対して27人の方にリーダーになっていただきました。今後もリーダーを一人でも多く養成していきたいと思えます。

問 27人のうち今年度、実際活動している人数は何人か。

答 いきいきセミナーという地域に向いて介護予防教室を行っています。ほとんどのリーダーの方が一緒に参加していただき指導等をしていただいています。

審査結果

満場一致で認定

後期高齢者医療特別会計

審査結果

満場一致で認定

水道事業会計

問 漏水があることで有収率も落ちてくると思う。漏水の対策はいかがか。

答 町内全域に対して漏水調査を行っております。老朽管や水圧の高いところを重点的に調査しております。

審査結果

満場一致で認定

(小村委員長記)

決算審査特別委員会

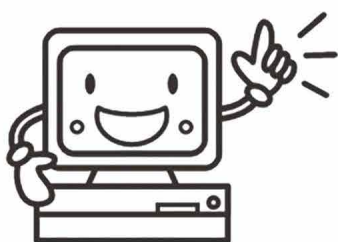
委員長	小村尚己
副委員長	奥村容子
委員	小林誠
〃	平川理恵
〃	井上卓也
〃	坂口徹
〃	濱真理子

議会を傍聴してみませんか！

斑鳩町議会では「開かれた議会」をめざしています。みなさんの選んだ議員が、議場や委員会でのどのような発言をし、行政はどう答えているのか、みなさんご自身でお確かめください。また、会議録は庁舎ロビーや公民館、斑鳩町立図書館でも閲覧できます。

みなさんのご意見やご要望をお寄せください。

(宛先) 〒636-0198
斑鳩町法隆寺西 3-7-12
斑鳩町議会事務局
TEL 74-1001 (内線 302)
FAX 74-1011



議会だよりと会議録(本会議、委員会)が斑鳩町ホームページで閲覧できます。

斑鳩町ホームページ (<http://www.town.ikaruga.nara.jp>) で、斑鳩町議会をクリックしてください。No. 52(平成19年5月1日発行)以降の議会だよりと平成23年5月以降の会議録が閲覧できます。

こんなことが決まりました

第3回 定例会

平成30年9月3日～9月27日

それぞれの議案は、委員会に付託し、詳しく審査しています。
議案の内容などについては、各委員会の記事をご覧ください。

- 決算：決算審査特別委員会 ・2～5ページ
- 建水：建設水道常任委員会 ・15ページ
- 厚生：厚生常任委員会 ・16ページ
- 総務：総務常任委員会 ・17ページ

	案 件	付託先	結 果	
条例	町長、副町長及び教育長の給与の減額に関する条例について	総務	満場一致で可決	
	斑鳩町農地等災害復旧事業分担金徴収条例について	建水		
	斑鳩町町税条例等の一部を改正する条例について	総務		
	斑鳩町都市計画税条例の一部を改正する条例について	総務		
	斑鳩町家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例について	厚生		
予算	平成30年度斑鳩町一般会計補正予算(第6号)について	総務	満場一致で可決	
	平成30年度斑鳩町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)について	厚生		
	平成30年度斑鳩町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)について	厚生		
	平成30年度斑鳩町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	厚生		
決算	平成29年度斑鳩町水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	決算	満場一致で可決	
	平成29年度斑鳩町一般会計歳入歳出決算の認定について	決算	賛成多数で認定	7ページに賛否の討論
	平成29年度斑鳩町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	決算	満場一致で認定	
	平成29年度斑鳩町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	決算		2～5ページに決算審査の概要
	平成29年度斑鳩町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	決算		
	平成29年度斑鳩町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	決算		
	平成29年度斑鳩町水道事業会計決算の認定について	決算		
松田和枝氏を推薦することについて適任と答申				
契約	いかるがホール空調設備更新工事請負契約の締結について	総務		満場一致で可決
人事	人権擁護委員の推薦について意見を求めることについて		適任と答申	ふじわらのぶひろ 藤原伸宏氏を任命することについて同意
	教育長の任命について同意を求めることについて		満場一致で同意	おうやしずか 應矢志図香氏を任命することについて同意
	斑鳩町教育委員会委員の任命について同意を求めることについて			
	斑鳩町公平委員会委員の選任について同意を求めることについて(その1)			おのえいこ 小野英子氏を選任することについて同意
斑鳩町公平委員会委員の選任について同意を求めることについて(その2)		ふくいまさこ 福井方子氏を選任することについて同意		
報告	議会の委任による町長専決処分の報告について(平成30年度斑鳩町一般会計補正予算(第5号)について)		報 告	
陳情	国民健康保険県単位化の下での国保運営のありかたに関する意見書について	厚生	賛成少数で不採択	
発議	国民健康保険県単位化の下での国保運営のありかたに関する意見書について		賛成少数で否決	7ページに賛否の討論

本会議での 討論

議案に対して賛否が分かれた場合、議員が自己の賛否の意見を表明し、その理由を述べる「討論」を行います。
9月定例会では、2件の討論が行われました。

平成29年度斑鳩町一般会計歳入歳出決算の認定について

【反対意見】 木澤 議員

平成29年度は予算審査の段階で修正案を提出し、30人学級の充実やシルバー人材センターへの契約単価の見直しなどを求め、原案には反対してきました。平成30年度予算では、シルバー人材センターへの契約金額が改善されていますが、29年度では改善されておらず問題です。また、30人学級の充実については後退したままで改善されていません。

更に、コミュニティバス有料化による乗車人数の減少や、コンビニ交付事業費では、住民票などを1件発行するのに5600円もの経費がかかっており問題です。

また、高齢者の免許自主返納支援事業、貸農園事業などは、制度の充実・改善が必要です。いかるがバイパス・パークウェイ事業は住民合意がなされておらず計画の見直しを求めます。

以上、主な問題点を指摘して反対します。

【賛成意見】 宮崎 議員

全国的な少子化・超高齢化の進展は、地方経済にさらなる影響を及ぼすことが予測され、町財政の見通しは、決して明るいとは言えない状況となっています。

このような厳しい状況のなかではありますが、本町が抱えている行政課題に的確に対応され、各種施策に着実に取り組まれているものと考えられます。決算状況につきましては、単年度収支で、約2,600万円の赤字となりましたが、この主な要因は、町債の発行抑制の取組みによるものであり、また、当初予算で計上されていた財政調整基金の取崩しを執行していないことから、健全な財政水準を維持していることがうかがえます。

今後においても、これまで以上の積極的な諸施策の推進を期待し賛成意見といたします。

国民健康保険県単位化の下での国保運営のありかたに関する意見書について

【反対意見】 坂口 議員

現在の国民健康保険制度では、今後さらなる増加が予測される医療費に対して、個々の市町村保険者が、単独では安定した財政的運営が困難になってきている現状があります。

このため、奈良県が財政的な責任主体となって、この運営の中心的な役割を担い、市町村保険者とともに、運営に当たられていることに、大きな期待が持たれていると考えております。国民健康保険だけでなく、医療保険制度の安定した運営は、医療費の増加に対する抑制施策などを講じる必要があります。これらを推進するためには、地方自治体に関する団体が全国大会において決議され、国に要望されているように、都道府県や全国の市町村が一体となって活動していくことが最も効果的であり、重要であると考えことから、現段階で、保険料等のみに着目した本意見書の採択には賛成しかねるものであります。

【賛成意見】 濱 議員

この意見書で求めている5項目の要求は国・県に対しての市町村の基本的な立場を、「住民の立場、住民に寄り添った行政」を行う姿勢を明らかにし、自治体イコール住民を尊重することを、県・国に求めるものです。

県単位化も大きな問題ですが、国庫負担の減額を進めてきた国の施策をまずは大幅に増額する要求は最優先の項目です。国保加入者の多くの方が、年金・賃金の減額・目減りの影響を受けています。命を守る医療の保障は、決して侵害されてはならない、基本的人権です。

住民に最も近い市町村は、住民の命・暮らしを守る姿勢を崩すことなく、意見・要求を明らかにすることが責務であると思ひ、意見書の賛成意見とします。

一般質問とは、議員が町の行政全般について質問し、是正を求めたり、新たな施策の提案を行ったりするものです。

本定例会での一般質問は、9月6日・7日の両日、10人の議員が行いました。質問と答弁の内容を要約し、お知らせします。

※紙面の都合により、◎の質問のみ掲載しています。



濱真理子議員・8ページ
 ◎特定健診の通知
 ◎災害時の避難支援

平川理恵議員・9ページ
 ◎パブリックコメントの実施状況

◎審議会等について
 ◎町職員のポロシャツ導入
 ◎地域集会所の耐震化・バリアフリー対応

井上卓也議員・9ページ
 ◎国の促進する災害対策の大和川遊水地事業
 ◎奈良県の新たな取組み奈良県緊急内水対策

小林誠議員・10ページ
 ◎要配慮者支援体制のネットワークづくり
 ◎災害対策
 ◎災害時におけるペットの救護対策

木澤正男議員・11ページ
 ◎幼稚園保育料過大徴収
 ◎就学援助金
 ◎粗大ごみ
 ◎奈良県広域消防組合

嶋田善行議員・11ページ
 ◎大阪北部地震を教訓として

◎7月の大雨による町内河川の溢水
 ◎障害者雇用

小村尚己議員・12ページ
 ◎創業支援制度
 ◎法隆寺駅から法隆寺までの導線
 ◎防災行政無線の戸別受信機

中川靖広議員・12ページ
 ◎施設のエアコン設置状況
 ◎防犯カメラを設置した自治会に対する補助制度の創設

奥村容子議員・13ページ
 ◎子どもたちの命を守る対策
 ◎プロック塀の安全確保
 ◎災害対策
 ◎子ども子育て窓口

宮崎和彦議員・14ページ
 ◎補償について
 ◎事前に説明された売却の土地の裁判
 ◎道路の幅

災害時の避難支援について



濱 真理子 議員

議員 早めの避難を呼びかけても、なかなか実行に至らず、被災された例が各地で多数報道されています。斑鳩町では、河川氾濫などの水害時に高齢者や障害者で自力での避難ができない方への対応はどうされていますか。

高齢者の方は普段は大丈夫でも、急な体調不良や転倒等状況が変化します。家族の都合で支援が無い場合もあります。「地域での支えあい」を災害時に関わらず強めていく取り組みを望みます。町職員や消防・防災会等だけではなく、素早い対応のためにボランティア等の活動を提案します。

住民生活部長 現在では地

域防災計画に規定する「避難行動要支援者」の名簿作成・更新をおこなっています。土砂災害や河川の氾濫の避難情報を発令した際には、対象地域の方に対して、個別に電話にて連絡し、自力避難の可否等の確認を行っています。自力避難が困難な方を町職員が自宅から避難所まで移送する場合があります。9月4日の台風21号時には接近前から自主避難所を開設し、自力避難が困難な方を移送する体制を整えていました。

ボランティア等の活用については、「避難行動要支援者名簿」はご本人の情報提供の同意がとれておらず、現時点では、他に提供でき

ません。

支援計画策定を進める中で自治会や民生委員等の地域の支援者に提供・活用できる仕組みづくりを進めております。自主防災会組織の設立促進のほかにも平時の啓発活動や対応に協力いただけるよう進めてまいります。

国保特定検診受診率向上を

議員 特定検診の対象者・受診者の人数は何人ですか。対象者でも職場等での受診者は何人ですか。

住民生活部長 対象者は40歳以上で平成29年度は5千110人、受診者は1千695人、受診率は33・2%でした。

国保加入者以外の検診受診者数は把握していません。
議員 第二慈母園ケアハウスの対象者の方へ問診票等の送付がなされていません。改善を求めます。

住民生活部長 今後は適切な対応を 第二慈母園と相談し進めて行きます。

パブリックコメント

コメント



平川 理恵 議員

議員 パブリックコメントはどのような際に実施されるのか、平成28年度、29年度の実施状況についてお聞かせください。

総務部長 町の政策等の立案過程においてあらかじめその案を公表し、広く住民の皆様方から意見を募集する手続きです。28年度には6件の計画(案)に対して5件、29年度には2件の計画(案)に対して3件の意見をいただきました。意見の募集期間については、15日間が5件、12日間が1件、10日間が2件という状況になっています。

議員 パブリックコメントで意見をした方に対して、回答をしているのでしょうか。

実施方法などについて、ルール化してはどうでしょうか。

総務部長 原則として個別には回答せず、町ホームページで公表したり、審議会等で報告をするなど、各担当課において対応をさせていただきます。提案いただいた内容を計画に反映させた事例もあります。現在は、全庁的なパブリックコメントの実施に係る基準は設けておりません。今後、先進事例を参考にして、パブリックコメントの実施に係る基準を策定することにより、行政運営において公正性の確保と透明性の向上を図ってまいりたいと考えております。

自治会集会所のバリアフリー及び耐震診断の助成について

議員 自治会集会所のバリアフリー化や耐震化は、自治会に委ねられています。町として実態把握はされていますか。町から支援はできないでしょうか。

総務部長 自治会集会所50戸のうち、昭和56年以前に建てられた建物は23戸となっています。バリアフリー化や耐震化を含む改修には、町から3分の2の補助をしています。

議員 自治会関係者に関心を持っていただくためにもアンケートなどによる実態把握をしていただくよう、要望します。また、耐震診断の助成についても検討していただきたい。



災害対策 大和川遊水地事業について



井上 卓也 議員

議員 近年、集中豪雨や台風による大雨を原因とする浸水被害が多発している中、国の促進する大和川遊水地事業と斑鳩町はどのように連携しているのかお聞きします。

都市建設部長 平成30年度に川西町、平成31年度に安堵町の用地買収が完了見込みであり、その内どちらか

の整備完了後に斑鳩町も着手出来るよう地元調整、調査測量、地元説明会、用地買収等を進めて行く計画であります。

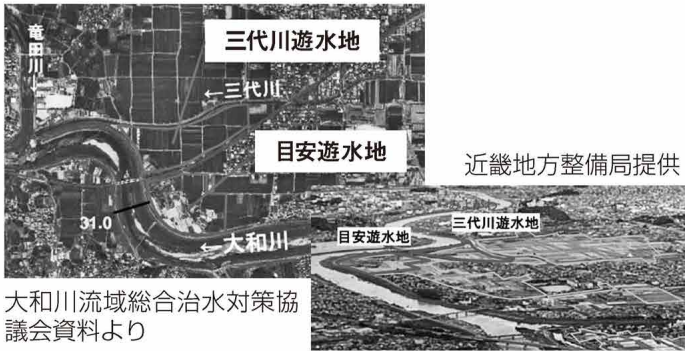
議員 近年の雨量での水害被害など、全国的にみましても、非常に増加傾向にありますことから、地権者の方々、計画予定地付近の自治会・住民の方々のご理解もいただける取り組みをお願いいたします。

そして住民の声をしっかりと国に届けていただき、早期実現にむけての取り組みを強く要望します。

新たな奈良県緊急 内水対策事業について

議員 三代川などの浸水被害について、奈良県の新たな取り組みである奈良県緊急内水対策事業をどのように活用し、災害予防対策とされていくのかお聞きします。

都市建設部長 国の事業計画、県の事業計画が早期に促進される事が、浸水予防



大和川流域総合治水対策協議会資料より

になる事から、地元の意見や要望が、事業計画に反映される事が重要だと考えており、国の遊水地事業と共に三代川の内水を排除できるように、今後も、国・県・町、それぞれが役割を果たし浸水対策に取り組んでまいります。

議員 今後も奈良県と連携し三代川下流部の内水対策と国の遊水地事業が早期に完成し効果が発揮できるように安心・安全の環境整備をお願いします。

助かる命

これまでの教訓を生かす



小林 誠 議員

議員 昨年10月、台風による中央公民館避難所運営に携わり、沢山の課題がみえた。そして今年の7月西日本豪雨においてもまだ、教訓を生かせていない。

西日本豪雨でお亡くなりになった岡山県真備町の51人のうち、約8割の42人が「避難行動要支援者名簿」に掲載され、このうち34人の名簿が地域の役員に提供されていた。しかし、地域の役員も被災され、十分避難を呼びかけられなかった。今回の災害は、名簿を避難につなげる体制づくりの遅れが浮き彫りになった。

そこで、災害時の個別支援計画を、支援を必要とする人が日ごろ利用している

介護や障がい者サービスの利用計画と一緒に作成してはどうか。

住民生活部長 住民が主体となつて取組まれている先進地事例を参考に検討する。

議員 名簿を作るだけでは命が守られないことが明らかになった。自力での避難が難しい人を支える地域づくりをお願いします。

次に海外から問題視されている「避難所の質の向上」について伺う。

住民生活部長 現在、生き生きプラザを福祉避難所に指定しているが、民間福祉施設に協力をお願いします。

議員 高齢化する避難者に対し、必要な方へは段階別ベッドの提供など柔軟な

対応の検討をお願いします。



後回しにされがちな ペットの救護体制の構築

議員 熊本地震をうけ「人とペットの災害対策ガイドライン」が改定されたが、斑鳩町における災害時のペット避難行動について伺う。

総務部長 「同伴避難」ではなく「同行避難」（避難所まで一緒）を基本とする。

議員 行政の役割は飼い主による適正飼養の支援。平時から多様な価値観を有する人々が、共に災害を乗り越えられるように啓発活動をお願いします。

幼稚園保育料 過大徴収について



木澤 正男 議員

償還の手続きのための文書を送付し、該当する保護者のみなさまに保育料の償還を行って頂きました。償還の状況は9月10日時点で対象世帯の95.8%の見込みとなっております。引き続き償還に努めてまいります。

議員 町が幼稚園保育料を法律の上限を超え3年間に渡り過大に徴収してきた問題について、問題発生後の町の対応についておたずねします。

教育長 教育委員会としては、必要な規則の改正を行い保護者のみなさまに保育料過大徴収のお知らせとおわびの文書、また、保育料

償還のしつこい文書を送付し、該当する保護者のみなさまに保育料の償還を行って頂きました。償還の状況は9月10日時点で対象世帯の95.8%の見込みとなっております。引き続き償還に努めてまいります。

副町長 役場としては、再発防止策として、まず①町職員に対する意識啓発②研修の実施③公益通報制度の見直しの3つの対応を実施しました。また、今回の事案については、意思決定を行うにあたっての町の方針決定、過程における会議録、伺書、報告書といった客観的に事実を示す記録が存在せず組織として証拠に基づき意思決定過程の検証が行えなかったことも課題であり、このため町の意思決定過程を含む公文書の作成のあり方の検討を行っていきたいと考えています。

議員 今回の問題は、職員が説明をしても前町長が「改正の必要はない」と答えたということが、そもそもの原因だと思いますが、

前町長への対応はどのようなか。

副町長 本来、支出する必要のなかった還付加算金と通信運搬費について、前町長に損害賠償請求することについては、町の顧問弁護士と相談しましたが、客観的事実を示す記録が存在しないこと、さらに、前町長においては担当者から減免限度額等を改正する必要がある旨の説明をうけたことはないと、意思表示をされているとの情報を把握しています。このような状況から新たに公金支出を行なってまで訴訟をおこなうことについて相当性を認められないとの判断に至っています。

前町長への対応はどのようなか。

議員 訴訟うんぬんは別にしても前町長に対しては、当時の責任者であり知らなかったでは済まされない問題だということを、この質問を通じて確認しておきたいと思っています。

大阪北部地震を教訓として



嶋田 善行 議員

議員 本町における小・中学校の校舎の耐震改修については、補強工事を前倒しされていると認識していますが、現在、園舎や校舎の耐震化はどのようになっていますか？

の園舎も昭和56年以降に建築確認を受けており、耐震基準を満たしています。

教育長 町立小・中学校の校舎の耐震化は平成25年度で完了しました。現在は斑鳩小学校・斑鳩中学校の渡り廊下等の耐震補強工事を実施しています。

議員 それでは、いざという時、園児・児童・生徒の行動はどうか。本町の園や学校における避難訓練はどうされていますか。

教育長 町立幼稚園・小学校・中学校では、火災や地震などの災害が発生したことを想定して、教職員の誘導のもと避難訓練を実施しています。本年度では、幼稚園では5回から8回、小学校では2回から3回、中学校では2回の実施を予定しています。

議員 消火訓練や地震発生時の対応などを、西和消防署の署員から直接指導を受ける

斑鳩幼稚園・斑鳩西幼稚園は耐震性を有する建物との判定を受けています。

斑鳩東幼稚園・斑鳩南中学校は昭和56年以降の新耐震基準で建築された建物であります。

住民生活部長 町立保育園

ことができる回も設けるなど、さまざまな機会を通じた防災訓練、防災学習を行っていきます。

住民生活部長 町立保育園については、地震や火災、水害を想定した避難訓練の年間計画を立て、月に1回避難訓練を実施しています。職員間においても、訓練で出た課題を把握するなど情報を共有することで実際の災害に備えるための避難訓練に努めています。

議員 繰り返し反復訓練をすること、非常時にパニック等に陥らず、落ち着いて行動できるのではないのでしょうか。

これからも反復訓練されるよう希望します。



ホテル誘致に合わせて お金を使ってもらえる 仕組みを早急に！



小村 尚己 議員

議員 ホテル誘致に合わせて宿泊者や観光客の方により、おみやげや物産を買ってもらいたい町内でお金を使ってもらおう仕組みをつくることを望まれる。平成29年4月1日に制度が施行されている創業支援事業についてこれまでの実績はいかがか。

総務部長 平成29年度の交付件数は7件で法隆寺周辺地区特別用途地区内で2件、重点創業促進事業が1件。平成30年度の交付件数は町内全体で2件のうち法隆寺周辺地区特別用途地区内、重点創業促進事業は0件です。

議員 現在、法隆寺周辺地区特別用途地区では、100万円の補助金があっても

商売しようと思われの方がまだ少ないということであると思う。今回は具体的に創業支援補助金の見直しを考えていただきたいと思う。例えば、補助額を上げた、条件緩和で現行の「フランチャイズ契約もしくはチェーンストアまたはこれに類する契約に基づく事業を行う」とする者が対象外になっているがフランチャイズ店も含め条件緩和をすることで多くの人が来たいと思う事業者を呼び込むことが考えられる。観光客の誘因だけではなく地元の人でも賑わうようにすることで法隆寺付近で商売が成り立つようになり、法隆寺付近で商売をしようと

する人が増えてくると思う。しっかりと法隆寺周辺でお金を使ってもらおう仕組みを考えるべきだと思いがいがか。

総務部長 質問者のご提案内容も含めまして、斑鳩町のめざす「まちあるき観光の実現」に向けて有効な制度設計を検討してまいりたいと考えております。

法隆寺駅から法隆寺までの 導線について

議員 まちづくり包括協定の基本構想を策定する予定だが法隆寺駅から法隆寺までの導線をどのように考えているか。

都市建設部長 現段階では歩行者ルートの設定、案内看板の設置、JR法隆寺駅から法隆寺から法起寺・法輪寺への回遊性の改善を図ることをテーマと考えており今後、具体的に整備方針・手法を決定していくこととなります。

施設のエアコン設置 状況について



中川 靖広 議員

議員 今年の猛暑の中、熱中症で搬送されたり、お亡くなりになられた方がたくさんおられますので、町の施設でそのようなことがあつてはならないという思いでこの質問に入らせていただきます。

町の施設でエアコンを設置されていないのはどのような施設があるのか、お尋

ねします。

総務部長 エアコンが設置されていない部屋がある施設については、斑鳩小学校、斑鳩東小学校、斑鳩西小学校、斑鳩中学校、斑鳩南中学校、中央体育館の6施設でございます。

議員 今後のエアコン設置計画についてお尋ねします。

教育長 教育委員会としても、小中学校へのエアコンの設置につきましては、喫緊の課題であると認識しております。本町におきましては、平成31年度に小学校3校の教室に、32年度には中学校2校の教室にエアコンを整備していく必要があると考えています。ただ、当初の予定を前倒しをいたしまして、来年夏までに小学校3校、中学校2校の教室にエアコンを設置していく必要があると考えているところでございます。また、体育館につきましても、体育の授業、部活動等で多目的に実施をされ、また災害時におきます避難所にも指定をされております

ことから、教室に加えまして体育館にもエアコンを設置していく必要があると考えているところでございます。

議員 小学校3校、中学校2校、また避難所にも指定されていますが、体育館につきましては設置をいただきたいと思います。来年の夏までには設置をいただきたいと思います。強く要望しておきます。



南中の音楽室

子どもたちの命を守る 対策について



奥村 容子 議員

議員 今年の夏の命に及ぶ酷暑を受けて、学校現場での熱中症対策として、小・中学校の各教室にエアコン設置が急務となっております。8月27日の総務常任委員会において、中西町長から小・中学校のエアコン設置について言及されました。

来年夏から小・中学校共に、エアコンの全面稼働をしていくために、早め早め手を打っていくことが大事だと思えます。エアコン設置に向けた今後の見通しについてお伺いします。

教育長 本町において当初、平成31年度に小学校3校の教室に、32年度には中学校2校の教室にエアコンを整備していく必要があると考

えていりましたが、当初の予定を前倒しして、来年の夏までに小学校3校、中学校2校の教室にエアコンを設置していく必要があると考えています。

乳児用液体ミルクの 備蓄導入について

議員 厚生労働省は乳児用液体ミルクの製造販売を可能にする規格基準を定めた改正省令を施行しました。これにより、国内企業が製造販売できるようになりました。

液体ミルクは常温で保存でき、容器に吸い口を装着すればすぐに飲むことが可能です。

清潔な水や燃料の確保が難しい災害時に赤ちゃんの命をつなぐ貴重な栄養源となります。

斑鳩町として、災害時の備蓄品として国産の液体ミルクを加えるお考えはありますか。お伺いします。

総務部長 液体ミルクはお湯に溶かす必要がなく、赤ちゃんがそのまま飲める製品であることから、特に災害時において、有用であると考えられます。

今回の安全基準の改正に伴い、今後、国内での製造販売が進んでいくものと考えられますことから、価格や保存期間などの課題に対する改善の状況を見ながら、災害用備蓄品としての乳児用の液体ミルクの導入について検討を行ってまいりたいと考えております。



中断している道路 どうするの



宮崎 和彦 議員

事業は稲葉地区で終わっています。ですが、当時この部分では土地の境界等の整理が困難な状況であり、現状でも解消できていません。

議員 都市計画道路法隆寺線延伸計画について

都市建設部長 都市計画道路法隆寺線については、これまで龍田南2丁目から小吉田2丁目間で一部供用している状況であります。

また、国の直轄事業として、いかるがパークウェイが小吉田1丁目から稲葉西までの区間で供用開始されており、現在国道25号三室交差点への接続に向けて施工されている状況であります。この整備の進捗に合わせ、法隆寺線についても、国道25号との接続を予定しているところであり、延伸につきましては、町全体の道路ネットワーク化の中で考えていく必要があります。いかるがパークウェイ整備の進捗、その他の幹線道路の検討、整備の進捗を見据えながら、その検討を行ってまいりたいと考えております。

議員 三代川右岸道路の道路計画と今後の進め方について

都市建設部長 三代川右岸道路の町道407号線は、平成12年度から道路整備工事を行い、当時の道路整備5ヶ年計画として道路改良事業を進めており、その中に位置付けして進めています。

議員 目安堤防線の道路計画と今後の進め方について

都市建設部長 目安堤防（町道437号線）については、平成16年度から拡幅工事を行い、平成28年度までに1025mの拡幅が完了いたしました。

現在、その東側60mについて工事を着手しているところであり、今後、目安の春日神社を直進して最終、大和川に架かっている御幸大橋までの450mを整備して完了します。河川の堤防を道路として占用し現在は町道として利用していますが、拡幅工事についても河川管理者である大和川河川事務所と地元関係者の方々の協議を進めてまいりたいと考えております。



目安堤防（町道 437 号線）

議会の日程

開会中の委員会
事情により開催しない場合もありますので、議会事務局にお問い合わせください。

11月14日(水) 建設水道常任委員会

15日(木) 厚生常任委員会

19日(月) 総務常任委員会

26日(月) 議会運営委員会

12月の議会の予定

12月3日(月) 本会議初日

(委員長報告、提案説明、議案上程)

広報発行常任委員会

6日(木) 一般質問

7日(金) 一般質問

10日(月) 建設水道常任委員会

11日(火) 厚生常任委員会

13日(木) 総務常任委員会

14日(金) 議会運営委員会

19日(水) 本会議最終日(委員長報告、討論、表決)

議場は、役場3階です。
すべて傍聴できます。

開会時間は、午前9時を予定しています。

(広報発行常任委員会は本会議終了後)

日程・時間は、一部変更になる場合があります。

詳しくは議会事務局にお問い合わせください。

議会事務局 ☎74-11001 内線302

建

設水道常任委員会

9月18日、全委員出席のもと委員会を開催し、継続審査案件等の審査を行いましたので、その主な内容と結果について報告します。

付託議案

○議案第39号 斑鳩町農地等災害復旧事業分担金徴収条例について

本条例は町が施行する農地及び農業用施設の災害復旧事業の費用に充てるため、地方自治法第224条の規程に基づき、分担金を徴収することについて必要な事項を定めるものであるとの説明がありました。

また関連します、各課報告事項、斑鳩町農地等災害復旧事業分担金徴収条例施行規則（案）についても、資料により説明がありました。

委員より、この条例、また規則を定める前は、どのようにされていたのか、改正後も負担率は同じなのか、など若干の質疑があり、それぞれ理事者より答弁されております。

（結果） 満場一致で可決

継続審査

○都市基盤整備事業に関することについて

都市計画道路の整備促進に関することについて、都市計画道路法隆寺線の整備について、今年度末までに、国道25号との接続部分の工事を予定しており、奈良県警交通規制課とは、信号機等交通安全施設の設置に係る施工計画スケジュールについて、協議を行い、一定の用途がついてきている事から、法隆寺線の整備工事につきましては、10月末の入札を予定しており、現在、発注に係る手続きを進めているところであるとの説明がありました。

委員より、都市計画道路法隆寺線が供用開始になったのち、服部道が、混雑するのではないかということについて、警察との意見交換はされたのか等、質疑が

あり、それぞれ理事者より答弁されております。

○JR法隆寺駅 周辺整備事業に関することについて

まちづくり連携協定において、基本構想をさだめていくこととしておるところであり、現在のところ、県担当者との先進事例を参考としつつ、地域の状況についての情報共有を図りながら、事務的な調整を行っているとの報告がありました。

委員より、連携協定の基本構想の予算についてなど、若干の質疑があり、それぞれ理事者より答弁されております。

各課報告事項

○平成30年度斑鳩町一般会計補正予算（第6号）について

議案第44号 平成30年度斑鳩町一般会計補正予算（第6号）につきまして、当委員会所管に関することにつきまして、一括して資料により説明がありました。

○その他

三代川の浚渫工事について、民間のブロック塀の相談窓口の件など若干の質疑があり、それぞれ理事者より答弁されております。

（井上委員長記）



9月19日、全委員出席のもと、本会議から付託を受けた5議案と継続審査案件について審査しました。その主な内容についてご報告します。

厚生常任委員会

委員会付託議案

◎斑鳩町家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例

家庭的保育事業を実施する場合に確保すべき「連携施設」の要件を緩和することと、食事の提供について外部搬入できる事業者の範囲が拡大されるものです。

◎平成30年度斑鳩町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)

国庫支出金等の返還に係り、歳入歳出それぞれ3,386万4千円を増額し、歳入歳出それぞれ、34億8,216万4千円とするものです。

◎平成30年度斑鳩町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)

平成29年度の本特別会計の決算額の確定に伴う繰越金と、国庫支出金及び県支出金並びに支払基金からの

交付金の精算に関するものなどで、歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ1億3,076万5千円を追加し、歳入歳出それぞれ25億6,076万5千円とするものです。

◎平成30年度斑鳩町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

平成29年度会計からの繰越し、保険料の還付、広域連合への納付等に関するもので、歳入歳出それぞれ、216万2千円を増額し、歳入歳出それぞれ、4億3,756万2千円とするものです。

(結果) 以上4議案は、満場一致で可決

◎国民健康保険県単位化の下での国保運営のありかたに関する意見書に関する陳情

(結果) 賛成少数で否決

継続審査案件

◎環境保全及びごみ減量化・資源化の推進に関することについて

特に報告することはないとのことでした。

各課報告事項

◎平成30年度斑鳩町一般会計補正予算(第6号)

本委員会に関係するものは、未熟児養育医療費給付費の増額、平成29年度の自立支援給付費国庫負担金等の精算に伴う超過交付金を返還するための増額、平成29年度子ども・子育て支援交付金の精算に伴う超過交付金の返還のための増額、大阪府北部地震によるブロッコリー倒壊により、町公共施設で建築基準法の現行基準に適合しないブロッコリーの改修工事を行うための増額補正です。

◎平成31年度保育所保育料について

国において示された保育標準時間・保育短時間別に、保育料の基準である公定価格及び利用者負担基準額では若干の増額となること、本年度と同額に据え置くとのことでした。

◎ふれあい交流センターいきいきの里の浴場の運営について

県保健所の立ち入り検査での助言にもとづき、週2回、換水を行うこととし、休館日の月曜日以外に、金曜日の開館から午後2時まで浴場の利用を休止することです。

(平川委員長記)



いきいきの里

総務常任委員会

9月20日 全委員出席のもと総務常任委員会を開催しましたので、その概要をご報告します。
 本会議より付託を受けましたら議案につきましては、すべて満場一致で原案どおり可決すべきものと決しました。

委員会付託議案

◎**町長、副町長及び教育長の給与の減額に関する条例**

町立幼稚園における負担軽減策の一部適用漏れ事案を組織の問題として考え、還付加算金及び通信運搬費に要する費用相当分を抑制するために町長、副町長及び教育長の給与を1か月間20%減額する。

◎**斑鳩町町税条例の一部を改正する条例**

地方税法等の一部を改正する法律に伴い所要の改正を行う。

総務常任委員会

◎**斑鳩町都市計画税条例の一部を改正する条例**

地方税法等の一部を改正する法律に伴い所要の改正を行う。

◎**いかるがホール空調設備更新工事請負契約の締結について**

当初、熱源を重油から電気にするとして1億8000万円で予算上程していたが工事手法について検討をし直したところ熱源を重油のまま継続する方が安価であると判断し工事手法を見直し約6500万円で工事費を見込み指名競争入札を

行った。

入札の結果、落札率44.5%の2894万4000円で工事請負契約を締結。工事期間の決定に伴い、平成30年10月1日から平成31年1月14日までの貸し館が可能になった。



いかるがホール

◎**平成30年度斑鳩町一般会計補正予算（第6号）について**

歳入歳出総額それぞれ2億3162万2000円を追加し歳入歳出それぞれ91億9963万3000円とする。

継続審査案件

◎**斑鳩町における歴史的史跡等の発掘調査、整備保存に関することについて**

法隆寺ゆかりの都市文化交流協定締結1周年を記念しました特別展「法隆寺食封で結ばれた文化交流展 —法隆寺がつなく各地域の古代の様相—」が開催され880名の方に入館いただいた。また、平成30年度 秋季特別展「史跡藤ノ木古墳と大和の家形（いへがた）石棺」について行う予定で、記念講演会を計画している。

各課報告事項

◎**コミュニティバス再編に向けた考え方について**

アンケートの結果等から2つのコミュニティバスの再編を検討する。運賃については有料化を維持する方針ではあるが、高齢者の負担軽減策については検討していきたい。ルートについて

ても王寺駅の乗り入れを含め検討していきたい。また、新たに高齢者を対象としたタクシー運賃助成制度を創設することを検討している。



◎町民プールの利用状況

今年度の利用者は6457人で前年度より1142人の利用者が減少しているとの報告を受けた。酷暑が大きく影響し、暑さによる屋外施設利用が敬遠されたと思われる。

（小村委員長記）

斑鳩町創業支援センター 愛称 ふらっぴん♪ の館内



愛称の由来は、誰でも気軽にふらっと立ち寄れて、みんなが笑顔で羽ばたける(Flapping) ところになってほしいという願いから。



タブレットやノートパソコンも
配備されています！



可動式パーティションも配備されているので、用途にあわせてレイアウトの変更もできます！

編集後記

台風を心配する日が続きました。運動会やお祭りの開催で、子供も大人も悩ませました。
自然は美しいものだけではない、厳しいものだけと思いきや知らされましたが、大きな災害にはならず、一安心です。

地球の歴史からみると、氷河期には多くの命が絶滅し、温かくなれば新しい命が生まれるなど何億年もかかって今日があります。人間が誕生してからの歴史は瞬きをするほどの極短のものです。

歴史の一瞬を生きる私たちが、自然を守り未来へつなぐことを忘れてはなりません。まずは、今日を安全にすごし、斑鳩の秋を楽しみましょう。

(濱委員長記)

広報発行常任委員会

委員長	濱 真理子
副委員長	坂口 徹
委員	宮崎 和彦
〃	小林 誠
〃	嶋田 善行
〃	奥村 容子